

ライブ毎刊びゃっきープレス

2006

無料配布

↑あたりまえ

3 月 16 日号

ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟

http://www.satram.jp/byacky/

byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要

http://www.satram.jp/

info@satram.jp

byacky press

苦  
い  
重曹  
仕  
上

びゃっきーとホットケーキ



大きさを揃い  
ムリに5枚作成

薄力粉とバターが余っていたため、びゃっきーは3月11日にホットケーキを作った。買い足されたものは卵と牛乳とメイプルシロップと重曹。今日は重曹について詳しくレクチャーする。

3月11日(日)  
晴れ。窓の外では、春二番が暴風のように吹き荒れ、花粉警報は北上中かと思われた穏やかな春の日。薄力粉とバターが余っていたためホットケーキ作りを決行。ちなみに当初から予定していたので、その他の材料は既に調達済み。花粉症はないものの、暴風の中買物をせずにすんでラッキー。

インターネットでレシピを調べ、作ってみると似たような分量なのにサイトによってできる枚数が違う。終わってみてわかったことだが、作ったタネを何分割するかだけの違いである。最初の一枚で3分の1ほどの分量を使って焼いてしまったら3枚にすればいいのである。最後に見たレシピが5枚と書いてあったからといってムリに5枚作るのは必要はない。びゃっきーはもろろん5枚にしたので、最後の一枚がとても小さかった。

さてここで重曹の登場である。いわゆる「ふくらし粉」というヤツである。ベーキングパウダーというものもあるが、それのもあるが、それも主原料は重曹。重曹に添加物が含まれたものだと思えばよい。

重曹とは炭酸水素ナトリウムのこととで、化学の時間に必ずと言っていいほど現れる物質である。化学の教師の90%が、炭酸水素ナトリウムが出てくると、「いわゆる重曹だ」と言い、そのうちの90%が「何に使うものか」と聞いてくる。さらにそのうちの90%の教師が「ホットケーキをふくらますのに使う」という答えを用意している。教師というヤツは、雑談すらマニユアル化されているのだろうか。そのおかげでホットケーキを焼く際に高いベーキングパウダーを買わずに、安い重曹で済ますことができるところから、化学の教師には数円分の価値がある。ところがこれを使ってみるとなかなか苦い。そこで初めて「なんか弱アルカリ性だったような……」ということを思い出す。化学の教師はあまり役に立たない。ベーキングパウダーは苦味を抑える工夫がしてあるらしい。数十円程度の違いながら、そちらがよかった。化学の教師は本場に役に立たない。

そう言えば、子ども達の頃、重曹のうがい薬というのがあって、なんかへんな味でイヤだなあと思っていた。前述の教師の質問に、「重曹はうがい薬に使われてる」と答えたなら、「そんなの聞いたことない」と言っていたことを思い出した。その頃はもしかすると自分の勘違いだったかとも思ったが、今インターネットで調べてみれば、うがい薬として利用されていることが書かれていて、化学の教師は全く役に立たないなあという思いがつのるばかりである。



(びゃっきー)